日本学術会議 循環経済を活かし自然再興と調和する
炭素中立社会への移行に関する検討委員会（第26期・第11回）
議事要旨

1. 日 時 令和7年4月16日（水）10:00～12:00
2. ハイブリット会議
会 場 日本学術会議 5-A会議室（1）
オンライン会議
3. 出欠（敬称略）
出席：岸本康夫、北島薫、城山英明、森口祐一、土井元章、野口和彦、松方正彦、
（対面）、大塚直、三枝信子、辻佳子、松八重一代（オンライン）
欠席：北川尚美、鈴木朋子、橋本禅、橋爪真弘
事務局：野田太輝、佐藤有純（対面）、奥和田久美、新田浩史、角田美知子（オンライン）
4. 資 料
資料1：第26期循環経済を活かし自然再興と調和する炭素中立社会への移行に関する検討委員会第10回議事要旨
資料2：第10回までの意見等に基づく論点整理
資料3-1：メッセージの構成の第三次案
資料3-2：提言本文の構成案および一部の草案
資料4：提言本文作成のスケジュール、今後の進め方
資料5：シンポジウム開催案（総合工学委員会、環境学委員会、化学委員会関係）
5. 議事内容
 - 1) 第10回議事要旨の確認
森口委員長より前回議事要旨案が紹介され、承認された議事要旨に関して確認された
 - 2) 第10回までの意見等に基づく論点整理
森口委員長から資料2に基づき資料の関係について説明されたあと、用語の使用法や各論点の位置づけや論点間の関係について議論が交わされた。
 - 3) メッセージの構成案、提言本文の構成案および草案について
森口委員長より、資料3を用いて提言構成案の説明がなされ、提言先や提言の構造、表現について議論がなされた。
提言の内容についての次回までの活動について以下の事項が決定された。
 - ① 各員は、資料3に対する意見を4月25日までに委員長に送付する
 - ② 委員長は、委員の協力を得て未執筆部分の執筆を進めるとともに、本会議での議論や委員から送られた意見のうち修正に間に合う意見を取り入れた加筆修正案を4月25日を目途に委員に配布する
 - ③ 各委員は、配布された修正案に対する意見を5月7日までに委員長に送付する
 - 4) 提言本文作成のスケジュール、今後の進め方
今回は、5月22日委員会を開催し、提言案を取り纏める。
 - 5) 分野別委員会が企画した公開シンポジウムの合同主催について
分野別委員会が主催する公開シンポジウムに関して、本課題別委員会も合同主催する旨を森口委員長から提案され、承認された。
また、水素に関するシンポジウムに関しては、岸本委員に主催主体の委員会への合同主催の打診を依頼した。

以上